

ご使用時には、自然を守る心配りも忘れずに!

フォールダーFP

取扱説明書

この度は当社製品をお買上げ頂き、ありがとうございます。

本製品は、登山・ハイキングなどの歩行補助用ステッキとして設計・製造されております。

本製品を正しく安全にご使用頂くために、この説明書は必ずお読みください。またいつでもご覧頂けるように大切に保管してください。

この説明書以外に、付属の説明書やタグ等がある場合は、そちらもよくご覧になり、本取扱説明書と一緒に保管をお願いします。

本製品についてのお問い合わせは下記宛にお願い致します。

株式会社 **シナノ**

〒385-0022 長野県佐久市岩村田1104-1
TEL. 0267-67-3324 お客様相談室



●お客様による修理・分解・改造は危険です。絶対にしないでください。

●お願い!!
シャフトの折れや曲がりなど
シャフトに関わる修理・交換は、
「下段シャフト(C)」のみ
対応しています(有償)。

アフター・サービスについて

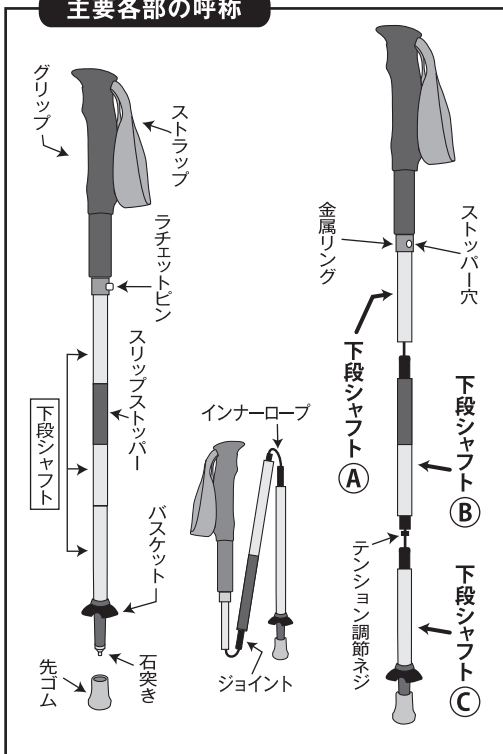
部品の修理等については、お買上げ店までお申し出ください。修理の際には改良品や同等の代替品を使わせて頂くことがあります。

facebook

SINANOとつながろう

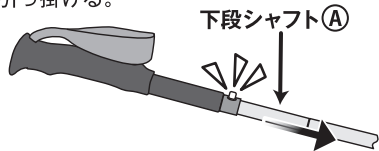


主要各部の呼称



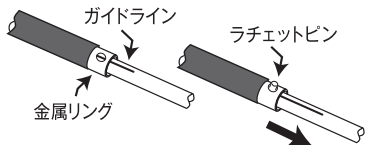
組立方

下段シャフト(A)を引張りだし、ラチェットピンを金属リングのストッパー穴に引っ掛ける。



ラチェットピンをストッパー穴に簡単に掛ける方法

下段シャフト(A)にあるガイドラインを、金属リングにあるストッパー穴に沿って引出すとストッパーが掛かります。



注意

ラチェットピンが確実にストッパー穴に掛かっていることを確認してからご使用ください。

折り畳み方

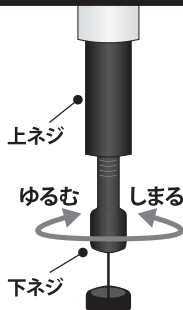
1. ラチェットピンを指で押し込み、下段シャフト(A)を縮める。
2. 各シャフトを引抜き折り畳む。

インナーロープテンション調節方法

1. ラチェットピンを指で押し込み、下段シャフト(A)を縮める。
2. 下段シャフト(C)だけを引き抜くと、テンション調節ネジが出ます。
3. テンション調節ネジの上ネジと下ネジを持ち、張りを強くしたい時は、下ネジをしめる方向に回します。張りを弱くしたい時は、ゆるむ方向に回し調節してください。
4. 調節の際は、ネジをいっぺんに回さず 1/2 ~ 1 回転ずつ回しロープの張りの強さを確認してください。

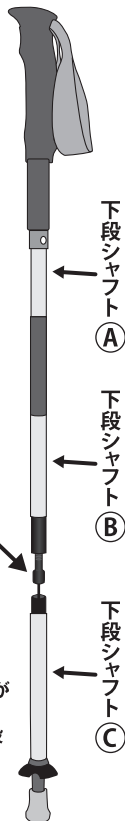
テンション調節ネジ
(図参照)でインナー
ロープの張りの強さを
調節できます。

テンション調節ネジ



注意

ゆるむ方向へ回しすぎると、下ネジが外れてしまうのでご注意ください。ネジが外れた状態で、上ネジが下段シャフト(B)の中に入ってしまうと、再度テンション調節ネジの連結ができなくなります。





危険！お取り扱い注意

1. 本製品は登山・ハイキング用に設計製造されています。これ以外の目的で使用しないでください。高齢者の歩行補助や松葉杖などの医療用の用途には絶対使用しないでください。折れたり曲がったりして、転倒の恐れがあり危険です。
2. ラチェットピンがしっかりと掛かっていること、また、各シャフトにジョイント部がしっかりと収まっていることを確認してからご使用ください。
3. ボールに全体重を掛けることはしないでください。
4. シャフトは横方向の力に対して破壊しやすいので、先端を岩の隙間に挟んだり、ねじったりしないでください。
5. 軽量タイプの設計となっています。このため使用しているシャフト材料の特性から極めて大きな力がシャフトに加わった場合、瞬時に破断することがあります。
6. カーボンシャフトはキズや打痕に弱い場合があります。目に見えないキズ、衝撃等が原因で使用中に折損することもありますのでご注意ください。万一シャフトが折損した時は、破損部には触れないでください。



7. 石突きは鋭利な形状をしています。取扱いにご注意ください。移動時（バス、電車内など）や保管時は、先ゴムなどを必ず装着し、安全の確保をしてください。
8. 振り回すなど他の人が危険になるような行為はしないでください。使用中も前後の状況に配慮してご使用ください。
9. 腰掛けなどに使用しないでください。
10. 落雷の恐れのある時は使用しないでください。
11. 先ゴムの脱着は状況に応じて判断してください。
12. 先ゴムがすり減った時は、新品の本製品指定先ゴムと交換してください。
13. 先ゴムは着脱可能です。移動中や使用中に紛失しないようご注意ください。

バスケットについて

- 1.装着されているバスケットは、雪山用ではありません。雪山で使用する場合は、お買上げ店にご相談ください。
- 2.歩行中に木の枝や石の間に、バスケットが引っ掛かることがあります。このような時は無理にステッキを引張ったりしないでください。バランスを崩し、思わぬ事故につながる**危険**があります。

保守・点検について

- 1.使用前及び使用中にも本製品に異常がないか各部を十分に点検してください。その際、次のような状態を発見した時は使用しないでください。
 - シャフトのキズ、変形、ひび割れなど
 - 各パーツ（“主要各部の呼称”図参照）のゆるみ、亀裂、変形など
- 2.使用後は組立を解除し、各部の汚れや水分を拭き取り、内部を乾燥させてから保管してください。（雨、雪などで濡れた時は特に注意。）
 - ※砂礫帯などで使用した後も各部の汚れをきれいに落としてください。そのまま放置すると内部に残った砂等によりシャフトが抜けなくなる恐れがあります。

- 3.油やオイルなどの潤滑剤は**使用しない**でください。
- 4.熱源の近く（ストーブなど）には置かないでください。グリップやストラップが**変形**したり、**ヤケド**をする恐れがあります。また、極度に低温になる所に置くとシャフト部が凍ったり、各部の機能が低下することがありますので注意してください。
- 5.保管する時は直射光の当たらない、屋内の乾燥した場所に、折り畳んだ状態で保管してください。
 - ※長期間使用しない時も、インナーロープのテンションを緩め**折り畳んだ状態**で保管してください。

次の点にもご注意ください。

- 1.使用時は樹木などを傷つけないように配慮してください。
- 2.使用しないで持ち運ぶ時は、折り畳んでザックなどに収納してください。
- 3.破損後などの廃棄に際しては、各行政の指示に従い、必ず分別廃棄してください。